

うぶすな

～ふるさどを見る・知る・探す!～



版画：岩田健三郎・画 「柳田國男生家」

第4号

友好都市の締結と交流

遠野市立博物館

博物館係長 長谷川 浩

昨年の夏、福崎町と遠野市は友好都市となりました。柳田國男誕生の地である福崎町と柳田國男の代表作であり、民俗学の記念碑的な作品である『遠野物語』が生まれた遠野市が、柳田國男の縁で結ばれるのは、必然のことであつたと思います。

友好都市締結を記念して昨年の11月1日から16日まで企画展「遠野物語誕生の地 遠野」を記念館とエルテホールの2つの会場で開催することができました。

『遠野物語』の話者で、昔話研究の先駆者としての業績から日本のグリムと呼ばれる佐々木喜善の紹介、オシラサマや絵馬、郷土人形など遠野の信仰や年中行事の紹介などを行いました。初日から多くの方々に来館していただき、展示解説を通してさまざまな方々とお話をする事ができたのは、良い経験となりました。気候も歴史も異なる両市町ですから、お互いの文化を知ることには、たいへん興味深いことだと思えます。

今後もお互いの文化を紹介する企画展やイベントを開催しますので、ぜひ会場に足を運んでいただきたいと思います。

子どもの遊びの大切さ

昭和女子大学非常勤講師

後藤 麻衣子

子どもの頃に体験したことは、大人になっても忘れずに心に残っていることが多いと思います。私も友人とサイノカミなどの年中行事に参加したり、かごめかごめや鬼ごっこをしたり、カマクラを造って遊んだことは楽しい思い出になっています。

学生時代、柳田國男の『こども風土記』を読んだとき、大人が行っていた神事などを子どもがまねて遊びの中に取り入れていったことを知りました。

また、子どもたちは仲間とともに遊ぶことによって、人間関係やムラで生きていくために必要なことを学び、大人になっていきました。

子どもの遊びに興味を持ち、今では私のライフワークとなっていますが、近年、私のふるさとである福島県会津地方では、集団で遊ぶ子どもの姿を見ることが少なく廃れていっています。

そういう時代だからこそ、ぜひ『こども風土記』を読んで、子どもの遊びや行事の意味を知っていただければ幸いです。その土地で受け継がれてきた風習は私たちの財産であり、これからも絶やさずに伝承して欲しいと願っています。

柳田國男・松岡家記念館 / 柳田國男生家



柳田國男生家 / 兵庫県指定文化財



平成26年度の催し報告

秋季展
10/18~11/24

松岡五兄弟の原点 ～福崎からたどる軌跡～

日本民俗学の父と称される柳田國男には、松岡^{かたえ}、井上^{みちやす}通泰、松岡静雄、松岡映丘^{えいきゅう}という優れた業績を遺した兄弟がいます。この5人の兄弟を松岡五兄弟といいます。

秋季展では、松岡五兄弟がどのように福崎で過ごしたのかを紹介し、兄弟それぞれの業績を示す資料を展示しました。

松岡映丘については、姫路市立美術館所蔵の本絵5点を展示しました。

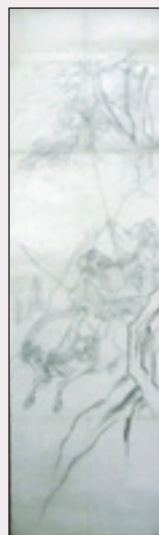
このうち、2点については当館の画稿（下絵）とともに展示し、作品が描かれる過程をご覧くださいことができました。

【資料紹介】柳田國男著『故郷七十年』

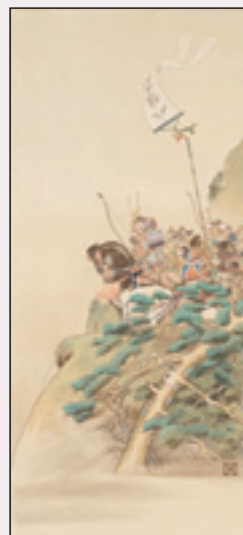
『故郷七十年』は、昭和34年（1959）にのじぎく文庫から出版された本です。このとき、國男は85歳でした。

この本で、國男は自らの半生をふり返り、福崎でのさまざまな体験と兄弟のようすを記しています。

國男がこれらの体験を記したのは、同世代や若い世代の人たちのためになってほしいという気持ちからであるとも述べています。



「鶉越」



松岡映丘「鶉越」
姫路市立美術館蔵



『故郷七十年』



松岡映丘「生家」

記念館

年間来館者 1万人突破！

資料館



記念撮影（記念館）

記念館と資料館では、ともに年間1万人を超える皆さんにご来館いただきました。

記念すべき1万人目の来館者は、記念館は近藤会美さん（加古川市）、資料館は上延晴正さん（姫路市）でした。



記念撮影（資料館）

第35回山桃忌

山桃忌は、柳田國男とその兄である井上通泰の祥月にあたる8月に、2人の偉業を偲んで開催している行事です。

“柳田國男とアジア”をテーマに、8月2日（土）と3日（日）の2日間にわたり開催しました。

1日目は「第1部 柳田國男とアジア」と題して、辻川鬼太鼓披露のあと、基調講演、記念講演、シンポジウムを行いました。

2日目は「第2部 柳田國男の見た中国」と題して、中国雑技の上演を行いました。



講演会・シンポジウムのようす



中国雑技上演のようす

第1回柳田國男検定 初級編

柳田國男検定は、柳田國男への理解を深めていただくことを目的とした新しい取り組みです。

第1回柳田國男検定初級編を、8月3日（日）に実施しました。

福崎町内外から177名の方が受験され、見事に94名の方が合格されました。

そして、最高得点賞を50点満点の2名に贈りました。



検定のようす

第2回福崎町柳田國男ふるさと賞

福崎町柳田國男ふるさと賞は、福崎町内の小中学生が地域の歴史と文化を調べて作品にまとめます。



福崎町子どもふるさと展

福崎町で創設した柳田國男ふるさと賞が2回目を迎えました。

〔ふるさと賞 受賞一覧〕

【小学生低中学年の部】

田原小学校3年 大塚柚花さん 「神積寺の開き千年のほうようとお開帳」

【小学生高学年の部】

田原小学校5年 山本壮悟さん 「ぼくのふるさと」

【中学生の部】

福崎西中学校2年 山本柊羽さん 「新町の小学について」

福崎東中学校2年 安田千尋さん 「三拾六歌仙^{へんが}扁額」

また、ご応募いただいた作品は「福崎町子どもふるさと展」で展示をしました。

遠野市友好都市交流事業

福崎町と遠野市は、8月23日（土）に友好都市を締結しました。



友好都市共同宣言調印式

友好都市締結を記念して、11月1日（土）から16日（日）にかけて、企画展「遠野物語生誕の地 遠野」が開催されました。遠野に伝わる話を柳田國男に語った人物である佐々木喜善をはじめ、遠野の歴史と文化が紹介されました。

記念館では、遠野市立博物館所蔵の『遠野物語』の原稿（複製）やオシラサマなどの資料を展示しました。そして、エルデホールでも遠野の景観を紹介する写真パネルやポスターを展示しました。



展示のようす

神崎郡歴史民俗資料館

平成26年度の催し報告

特別展報告
10/18～11/24

福崎の古墳の魅力 —よみがえった輝き—

町指定文化財の6基の古墳をはじめ、福崎町には40基以上の古墳が確認されています。

今回の特別展では、出土遺物を一堂に展示し、町内の古墳を紹介しました。国や兵庫県の補助を受け保存処理を行った鉄器や、初公開となる遺物等を展示し、秘められた古墳の魅力をお伝えしました。



東広畑古墳（町指定文化財）



亀甲繫半鳳文
円頭大刀柄頭

福崎町文化財シンポジウム報告

初めての試みとなる、福崎町文化財シンポジウム「福崎町の文化財 未来につなぐ地域の歴史文化遺産」を、11月24日（月・振休）に、福崎町エルデホールで開催しました。

60年ぶりに国指定重要文化財「木造薬師如来坐像」の公開を行った神積寺から見た福崎町の文化財をわかりやすく紹介しました。

地域歴史文化遺産の保護・活用を、みなさんとともに考える機会となりました。



シンポジウムのようす

戦争関連資料の収集にご協力ください

平成27年は、終戦から70年を迎えます。この節目の年にあたり、残された資料をとおして、戦時中の福崎の人々の暮らしに焦点をあてた特別展の開催を企画しています。

年々、戦争体験者が少なくなり、資料が処分されたり、散逸したりしています。昭和の初めから昭和20年ごろの福崎町に関係するもので、戦時中の生活のようすや戦争に関わる資料、写真等をお持ちの方は、資料館までご連絡ください。

（☎0790・22・5699）

主な収集対象資料

防空ずきん、国民服、衣料切符、陶製代用品、軍事郵便、もんぺ、召集令状（赤紙）、出征のぼり、軍服・兵士の装備品、古写真、墨塗り教科書、国民学校関係、ポスター・チラシ等



戦争関連資料

編集後記

平成27年（2015）は、柳田國男生誕140年と松岡鼎生誕155年の節目の年となります。

また、記念館は開館40年を迎えます。今までの積み重ねを大切にしながら、松岡五兄弟の業績をお伝えするために新たな試みを行います。

平成27年度の催し

- 記念企画展「松岡鼎展」
- 第36回山桃忌
- テーマ：柳田國男の『故郷七十年』
- 柳田國男検定初級編／中級編
- 第3回福崎町柳田國男ふるさと賞
- 遠野市友好都市交流企画展

うぶすな 第4号

平成27年3月19日発行

福崎町立柳田國男・松岡家記念館

〒679・2204

兵庫県神崎郡福崎町西田原

TEL 0790・22・1000

1038・12

◆ 休館日

月曜日（祝日は開館）

祝日の翌日（土・日は開館）

12月28日～1月4日

◆ 開館時間

午前9時～午後4時30分

（入館は午後4時まで）